



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：KRG と中央政府及び石油ビジネス

(10月21日付現地各紙)

1. 20日、4日間のバグダッド訪問を終えたバラザーニーKRG大統領は、イラク・米国間の治安協定について、イラクの主権に抵触することはないとしながらも、最近米国側より提示された協定案は、イラクの利益に適うものであると考えられるので、同協定案に署名することがクルドのみならず全体にとっても利益になるとし、以下発言した。
2. 今回の訪問を通じて、KRG 及び中央政府の双方にとって重要な問題である「国家の統治及び政治システム」、「治安部隊と国軍」、「石油と財政」、「係争地の扱い」及び「イラク外交政策」の5つの分野に関する高等委員会を設置することが合意された。当該委員会は、クルド民主党、クルド愛国同盟などによって構成される。
3. 今回のバグダッド訪問に際して、トルコ外務省代表团との会談を行った。同会談はトルコの間にある直接対話の障壁を打ち壊すものであった。
4. 19日、ネチルヴァン・バラザーニーKRG 首相は、約50名の独企業関係者及びビジネスマンとの会談を終えた記者会見の席上次の通り発言。
 - (1) クルド地域の経済は極めて好調。クルドは世界各国からイラクへの投資を呼び込む経済的なゲートウェイになることを望んでいる。独企業に関しては、独企業がイラク復興に実質的に参画してくることを希望するとともに、KRG として、独ビジネスマンのクルド及びイラク全域の投資のために協力していくつもりである。
 - (2) KRG は、クルド地域において採取される石油の輸出を開始することを中央政府に求めている。イラク憲法は、石油はイラク国民が所有するものと規定しており、バスラからであれ、クルドからであれ、採取される石油の収益は最終的に国家予算に組み込まれることになっており、そのうちKRG が得るのは、17%に過ぎない。
 - (3) 石油を巡るクルドと中央政府との問題が解決され、クルドからの石油輸出が速やかに開始されるようになることを望んでいる。現在クルドからは、トルコへの石油パイプラインを通じて日量10万バレルを輸出することが可能である。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799